



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）10月25日号 No. 1576

目次

■ ロシア統一地方選挙：8年ぶりの知事選挙復活	中馬 瑞貴 1
■ キーパーソン	6
地域発展大臣いよいよ交代／6	
■ トピックス	7
住友電工がロシアの超伝導送電事業に参画／7	
丸紅、ウクライナで排水浄化プラントを受注／7	
世界ビジネス環境調査でグルジアは9位に／7	
■ エトセトラ	8
『調査月報』2012年11月号のご案内／8	

ロシア統一地方選挙：8年ぶりの知事選挙復活

ロシアNIS経済研究所 研究員
中馬 瑞貴

はじめに

速報9月5日号でお知らせしたとおり、2012年10月14日に統一地方選挙が実施された。地方自治体を合わせ、77の連邦構成主体で4,814の選挙が行われた統一地方選挙であるが、今回の注目は何といても約8年ぶりに実施された知事選挙であった。先に結果について言及すれば、アムール州、ベルゴロド州、ブリャンスク州、ノヴゴロド州、リャザン州、全5つの連邦構成主体で、現職、統一ロシアの知事が再選を果たした。

与党統一ロシアは2011年12月の下院選挙で期待したほどの支持率を獲得することができず、その後も反政権運動が続き、2012年3月の連邦大統領選挙に向けて、支持率の回復に躍起になっていた。一部の構成主体首長はモスクワに集められて喝を入れられ、大統領選の直前に知事の交代を余儀なくされた地域さえあった。そのような選挙サイクルの流れを受けた今回の統一地方選挙の結果はどうなったのだろうか。本稿では知事選挙以外の結果も一部踏まえながら、今回の統一地方選挙の結果について報告する。